

## 図書館協議会会議録

と き 平成 23 年 11 月 25 日 (金)  
午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時  
ところ 名張市立図書館 2 階 視聴覚室

出席者：協議会委員 久保、澤田、平見、山中、中川、山岡  
(欠席者) 高倉、岩見

教育委員 松尾  
事務局 中野、木村、宮前

### 1 あいさつ

松尾教育委員

### 2 辞令交付

松尾教育委員より交付。

### 3 役員選出

委員の互選により、次のように決定。

会 長 澤田委員  
副会長 平見委員

### 4 報告事項

(1) 図書館業務委託契約更新の進め方について  
事務局より資料に基づき報告。

(2) 名張市子ども読書活動推進計画策定の進捗状況について

8月4日に第1回、10月6日に第2回の検討委員会を開催し、12月2日に第3回検討委員会の開催を予定している。

今回の推進計画策定に当たっては、二本柱の指針を考えている。一つは、学校図書館のあり方を検討しその機能の充実を図ることであり、もう一つは、市立図書館が中心となり地域・家庭・諸機関と連携して協力体制を作り上げ、読書活動を支援することである。

図書館サービス充実のための三要素は、人・資料・施設であるといわれているが、今回の計画では「人」の部分に重点を置くことになる。現在の市の厳しい財政状況の中でどうしていけるかが課題である。

#### 委員からの意見

学校図書館では、専門に図書館に従事する人がいない。司書教諭が発令はされているが、機能していない。是非、「人」の部分の充実をお願いしたい。

調べ物の仕方、本の探し方、図書館間のネットワークなどを子どもに知らせていく必要がある。

#### (3) 交付金の経緯について

##### 教育次長から説明

前回、「住民生活に光をそそぐ交付金」について、経緯についてあらためて説明をとということであったので、説明させていただく。

この交付金は、平成 22 年 10 月 8 日に国の閣議決定がなされた緊急総合経済対策で、使い方の例示に「知の地域づくり」として図書館における図書の充実が含まれていた。

市では、約 2700 万円が平成 22 年度 500 万円、平成 23 年度・24 年度にそれぞれ 1100 万円ずつ使うことになった。平成 22 年度の 500 万円のうち 200 万円が図書購入費として充てられた。この 200 万円は、本来、平成 22 年度の増額分として充てられるべきであるが、市の財政状況が厳しい中、22 年度に前倒しとし、23 年度から 200 万円減額し、22 年度・23 年度あわせて同額とした。このことは、交付金の趣旨に反するという指摘はそのとおりだが、市の財政措置が大変厳しい中でこのような予算措置をとった。

今、平成 24 年度の予算編成が行われているが、編成の段階から赤字覚悟でやっていかなければならない。このことがわかっていた中での予算措置であったので、一般財源の充実に助けてもらった。

#### 委員からの意見

財政状況が厳しい中、大変だが、予算の確保に努めてもらいたい。

#### 5 その他

特になし